

# 佐野れいじ 区議会レポート

平成20年・第一回定例議会報告

佐野れいじが  
改革を訴える

## 20年度予算、約974億円

2月15日から始まった、第一回定例議会は「20年度予算委員会」で20年度中野区一般会計が約974億円で決まり、3月21日の本会議をもって終了しました。私は中野区議会20年度予算・総括質疑で、2月27日質問に立ち、中野区の 財政運営について 未収金について 生活道路(狭あい道路)と道路台帳について 知的障害者の就労意欲の向上について、70分間にわたり区の見解を質しました。



中野区議会議員  
佐野れいじ

財政運営について

## 予算配分にかたより!

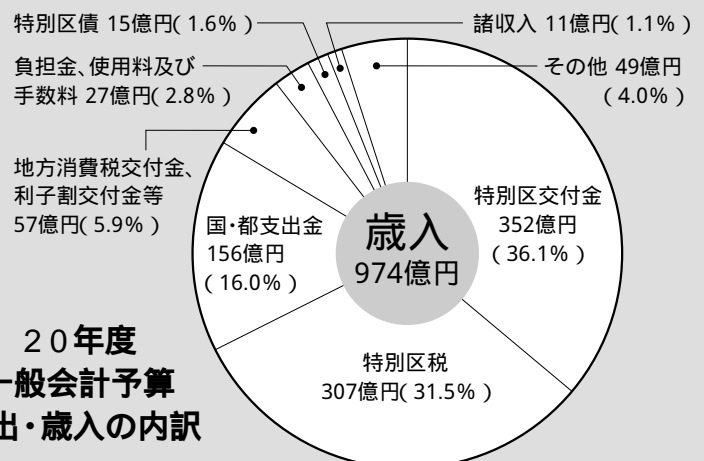
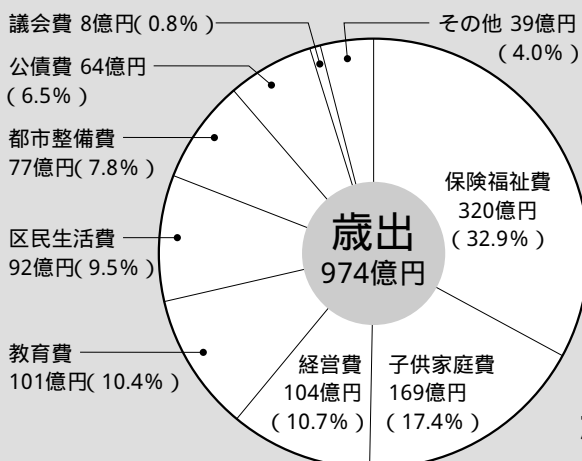
年々増え続ける扶助費(子供家庭費、保健福祉費など)が予算の半分以上で、学校、病院、道路などの投資的経費を圧迫!

中野区の一般会計予算はここ10年、毎年900~1000億程度で推移しています。また、区民税の基礎となる人口も30~31万で推移し、大きな税源となる大企業もさほどありません。こうした限られた財源の中で、人件費が下がった分以上に扶助費が増え、特に生活保護費は18年度115億円で4年度に比べると実に2.6倍にもなっています。

この結果、河川整備などの投資的経費が圧迫され、住み良いまちづくり計画に支障をきたします。私は区の予算配分のかたよりを「今後どうしていくのか?」尋ねました。これに対し区は再検討すると答えたにとどまりました。

## 自主財源増加の確保を!

不安定な国や都からの交付金に頼らず、自主財源増の施策を立てることが大切であり、その結果住み良い中野のまちづくり推進につながる!



20年度  
一般会計予算  
歳出・歳入の内訳